



# 青蘭 せいらん

第十三号 平成二十二年五月発行

No.13 May, 2010.

〒590-0027 大阪府堺市堺区樋元町 1-5-1

TEL 072-233-1880 / FAX 072-222-1709

URL : <http://www1.kcn.ne.jp/~mokuno/>

編集・発行 三国丘病院 医療福祉相談室



## 巻頭言 “病診チーム”

今年の春は、冬物の整理がなかなかできないほど日ごとに天候が変わり、診療報酬改定の対応に追われるめまぐるしさを表現しているかのようなスタートでした。皆様も、普段より多忙な年度始めを迎えられたと思います。

さて、私は精神科臨床に携わって30年になりますが、この間、時代とともに患者さんの病像も変化してきました。様々な精神障害に関する研究成果の蓄積もあり、薬物療法を始めとする精神科治療も日進月歩です。また、精神障害や精神科医療に関する社会的認知度や、一般からの関心や治療への期待も大きくなっています。確かに精神科医療を取り巻く状況は良くなっている面が多いとは思います。しかしその反面、というより、そうであるだけに、精神科医療に携わる者には、新しい情報を吸収し、目の前の患者さんの状態をよく見極め、多様な治療法の中から、リスクとベネフィットを天秤にかけた上で、その時点で最適

と思われるものを、選択実行する……という困難を引き受けていく覚悟が必要です。しかも、説明と同意はもちろん、さらに、利用者参加型の医療が治療文化として根付きつつあり、そこにも努力が必要です。また私たちには、利用者が公的な社会的支援を受けるために、その必要性や障害程度を公的文書として発行するという役割もあります。

以上の任務を十全に果たそうとして私たちは日夜努力している訳ですが、これは当然のことながら、特に入院治療では医師の力だけでは成し得ず、各専門職によるチーム医療でなんとか成り立つのだと思います。もちろんクリニックの先生の中には孤軍奮闘されている方も大勢おられるわけで、まったく頭が下がります。

そこで、クリニックの先生方には、精神科病院でのチーム医療を積極的に利用していただきたいと思うのです。本年度も職員一同力を合わせてチーム医療に取り組んで参りますので、今後とも病診連携をよろしくお願い申し上げます。

(ちかみ たかし：医療法人サヂカム会理事長・三国丘病院院長)

## 病院理念 誠意ある明るく開かれたこころの医療

### 基本方針

1. 安全で安心できる医療を目指します。
2. 説明と同意に基づく信頼される医療を目指します。
3. 職員は、患者さまの人権を尊重し、誠実な態度で業務に励みます。
4. 職員は、研鑽に励み、質の高いチーム医療を目指します。
5. 職員の専門的知識と経験を生かし、地域の精神保健福祉活動に協力します。

## 看護部理念

私達は常に患者様とそのご家族の立場に立って考え、その人にとって最良の看護が提供出来るように、誠意と愛情のこもった看護を目指します。



※「青蘭」解題：創設者である初代理事長・中條三（大阪市立大学名誉教授。物故）がこよなく愛した花にちなむ。自家庭で栽培し、自らの雅号にもした。三国丘病院の院章も青蘭を模したもの。

職員紹介



みなさん初めまして。4月から三国丘病院に着任しました、関野奈由と申します。

兵庫県尼崎市に生まれ、地元の小中学校に通い、四天王寺高校で学びました。大学は四国の香川大学に入學し、うどんを食べながらのんびり過ごしました。

学生時代より精神科に興味を持ち、平成21年4月に大阪市立大学精神科に入局しました。都会の病院での外来診療は、田舎とは比べものにならないほど疾患が多様で患者数も多いものでした。だだっぴろい病院で楽しそうにレクリエーションをしている患者さんしか知らないかったそれまでの私にとって、これはカルチャーショックそのものでした。こんなにも都会には精神科医療を必要とする人が多いのかと驚き、環境の大切さ、人のはかなさ、もろさを実感したことを覚えています。同時に、見違えるほど良くなられる方もいて、人の強さや力、可能性というものを感じました。

実際に患者さんを診察するにあたって、目に見えない心の病気をどう扱い、どう診断し、たくさんある答えの中からその人に見合った治療方法をどう選べばよいか、試行錯誤するばかりで、その難しさ、奥の深さを改めて痛感しています。

特に外来診療は4月からが初めての経験で、諸先生方に相談に乗って頂きながら何とかやっていますが、先に帰られるのが不安で、全員このまま入院してくれないかと思うほどです(笑)

口下手なところがあり、緊張すると拍車がかかるので、上手にコミュニケーションをとれているかどうか…。院内のSSTに参加した時、患者さんたちが話上手なのに驚きました。どうやら私にはこの治療が必要なようです。

こんな社会技能の乏しい私で、まだまだ未熟ではありますが、これからも経験を重ね知識の習得を重ねて、診療の幅を広げていけるよう努力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(せきの なゆ)

## 全館禁煙化



受動喫煙防止、個人の健康増進、法的規制の観点から、本年2月1日から3階病棟喫煙室を廃止しました。現在、一般病院だけでなく、精神科の全面禁煙も、厚生労働省の方針となっています。当院も全館禁煙化へ向かう方針

を立て、禁煙化への第一歩として行ないました。

続いて、来たる7月1日からは、2階病棟喫煙室を廃止することとしました。これをもって、当院は全館完全禁煙となります。

三国丘病院では、これらの禁煙化スケジュールに先立ち、喫煙者のための禁煙支援をすでに始めています。作業療法やSSTでは入院患者さまを対象に、デイケア



アでは外来患者さま対象に、禁煙支援プログラムを実施しています。その中で、薬剤師や管理栄養士による心理教育も行ない、喫煙による薬効や栄養摂取への悪影響などについてレクチャーしています。

本市では、平成二十二年四月一日から「堺東駅前広場、堺駅前（西・東）広場、大小路筋及び市役所周辺」を「路上喫煙等禁止区域」に指定しました。これら禁止区域内では、指定喫煙所を除いて喫煙することができません。

OB及び警察OBの巡回、視員がパトロールし、指導・啓発に努めています。違反者に対して直ちに罰則は与えられませんが、十分な市民周知期間を経て、平成二十三年度から過料（一〇〇〇円）が徴収される予定です。禁止区域の拡大も今後検討されています。

## Topicトピック

### 中庭園芸

中庭で栽培していたスナックエンドウです。患者さんたちと育て、4月29日、一緒に収穫しました。作業療法で社会復帰支援の一環として行なっている料理会や園芸クラブで調理して食べました。甘みがあって、なかなかの出来でした。





三国丘こころのクリニックは、診療を始めて4月1日で2年半になりました。その間の新規受診患者総数は826名で、男性が366名、女性が460名。そのうち20歳未満が48%を占め、15歳以下は37%でした。特に男性では15歳以下が48%を占め、広汎性発達障害(PDD)や注意欠陥多動障害(ADHD)などは男性に多いことと関連しているものと思われます。

4、5歳から15歳くらいを診療の対象としていますが、これまでの受診者の最年少は2歳でした。特に、男性では10歳頃に、女性では14歳頃に受診者のピークがあります。

初診患者数は、平成19年度123名、平成20年度318名、平成21年度385名と、各年齢層いずれもが増加していますが、特に小学生の男性と中学生の女性が増加している印象です。受診理由もさまざまですが、小学生においては男性のADHDやPDDによる問題行動などが、中学生以上では女性の不登校などが多い印象です。不登校は、社会恐怖などの神経症性障害を伴うことや、背景に高機能のPDDなどの発達障害が存在している場合も多いようです。

こういったこども、特に小児の治療においては、心理療法の役割が重要です。心理療法には個人対応とグループ対応があります。グループの利点には、●治療者と仲間により受容されること、●集団の範囲の中での安全、●守られた構造の中での友人を作る機会、●自身を評価する基準によって、他の集団の中のメンバーの長所や欠点を観察すること、●自分の価値を高めること、●自分の行動が他人に与える影響について観察しフィードバックを受けること、●モデリング、●自分の困難さが特別でないことを理解すること、●個人の治療に耐えられない子どもに治療の機会を提供すること、●仲間の間での相互作用を通して自己責任を増加させること、●それ以外の場では非常に難しい状況の場合、さまざまな環境で子どもの治療を行う機会を提供すること、●一度に複数の子どもを治療することによる経済効果…などがあります。



そこで当院では、不登校の小中学生を対象としたグループとして、こどもショートケアなごみを昨年5月に開設しました。月火木金の9:30から12:30まで、クリニック2階で行なっています。スマールステップとして、小集団での治療を試みています。すでに何名かは、ショートケアに通った後、この4月から小学校や中学校に復帰しています。また、発達障害などを持つ小学生の母親を対象としたグループ、家族ミーティングi(あい)を昨年11月から毎月1回行なっています。

(奥野正景 おくのまさかげ：医療法人サヂカム会副理事長・三国丘こころのクリニック院長)

### 青年期ショートケア・プログラム

### Short-Care Program for PDD Adolescences



■本院・三国丘病院では、平成22年1月より、主に発達障害をもつ青年期（10代後半～20代前半）向けの小集団治療を開始しています。精神科ショートケア（半日、3時間）の枠で実施しています。

■担当は臨床心理士1～2名。対人スキルや自己コントロール方法を、SSTや心理教育などの集団プログラムを通して学習していきます。

■月2回、隔週土曜日。13:00～16:00（3ヶ月ターム、全6回）。

デイケア  
アケやき



● デイケア玄関。通所しているメンバーさんと栽培していくます。今はチューリップが迎えてくれます。



花だより

# 外来案内

Information &amp; Guidance

平成 22 年 4 月 1 日～

	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診 齊藤☆	河口☆	天富☆	菅谷	千頭☆	菅谷
午 後	2 診 楠部☆☆	千頭☆	菅谷*	齊藤☆	関野*	河口*
	1 診 千頭☆	原口	関野	原口☆	河口	齊藤☆
	2 診 原口	—	奥野☆	辻☆	—	河口☆

◇担当医が変更になることがあります。

事前にお問い合わせください。

◇児童精神科外来：

(月) 午前 第2診察室

(水) 午後 第2診察室

(土) 午後 第2診察室 すべて予約制

## 【診察時間】

(月)～(土)

午前 9:00～12:00(受付は 11:00 まで)

午後 2:00～5:00(受付は 3:00 まで)

## 【休診日】

日曜、祝日、年末年始(12/29 午後～1/3)、創立記念日(1/4)

☆：予約診察。予約は外来看護窓口でお取り下さい。 \*：薬のみ診察の方。1時間ほどで第1診察室に切り替わります。

(月) 午前第2診察室は1時間程度お薬の後、予約診察に切り替わります。

## Access &amp; Map



## 病院案内

## ●南海高野線 堺東駅下車

東出口より、南東へ徒歩約5分。

## ●駐車スペースが少ないため、

できるだけ電車等の公共交通機関をご利用ください。

〒590-0027

大阪府堺市堺区樋元町1丁5番1号

TEL 072-233-1880

FAX 072-222-1709

URL:

<http://www1.kcn.ne.jp/~mokuno/>

■開設年：昭和36年

■診療科目：精神科・心療内科

■看護体制：精神科病棟15対1・看護師比率70%以上・看護補助10対1

■承認等：精神科作業療法・精神科デイケア(大規模)「けやき」

・臨床研修協力病院・清恵会医療専門学院准看護師養成実習施設

・財日本医療機能評価機構 病院機能評価認定病院

・付属診療所 三国丘こころのクリニック〔院長 奥野正景〕(堺区向陵中町 Tel.072-320-9006)

こどもショートケア 和一なごみ併設

・グループホームえびす(共同生活援助・共同生活介護)

■開設者：千頭孝史

■許可病床：精神病棟144床